

# 淀川水系流域委員会 第 20 回猪名川部会（2003.10.9 開催）結果概要

03.11.20 庶務作成

開催日時：2003 年 10 月 9 日（木） 16：00～19：40

場 所：天満研修センター 305 ホール

参加者数：委員 6 名、河川管理者 10 名、一般傍聴者 50 名

## 1 決定事項

- ・とりまとめの修正については、委員の意見をもとに部会長、田中リーダーに一任する。
- ・各委員は、整備内容シートについての追加、修正意見を 10/15 の作業部会に間に合うように提出する。
- ・各委員は、「猪名川部会とりまとめ（案）031009」への追加・修正意見を提出する。本日の議論と委員からの意見を踏まえて田中リーダーが案を修正、再度委員へ送付、部会長が最終的に確認した上で 10/29 の第 26 回委員会に提出する。

## 2 審議の概要

委員会、他部会の状況報告

資料 1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、委員会、部会及び意見書とりまとめ作業部会の開催状況等が説明された。

基礎原案に対する意見書とりまとめに向けた意見交換

）整備内容シートについて

資料 2-1-1「整備内容シート（猪名川関連部分）に関する意見（作業部会案）」および資料 2-1-2「『具体的な整備内容シート』に関する委員意見（猪名川関連部分）」を用いて意見交換が行われ、「1 決定事項」の通り決定した。主な意見は「3 主な意見」を参照。

）部会とりまとめについて

資料 2-2「猪名川部会とりまとめ（案）031009」を用いて意見交換が行われ、上記「1 決定事項」の通り決定した。主な意見は「3 主な意見」を参照。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 2 名から発言があった。主な意見は「3 主な意見」を参照。

## 3 主な意見

基礎原案に対する意見書とりまとめに向けた意見交換

）整備内容シートについて

< 環境 >

- ・環境 - 23、25「縦断方向の河川形状の修復の検討」に記載されているスケジュールが、平成 25 年までという長い間検討となっているので、部会の意見として「不可」とした。このスケジュールには理由があるのか。（田中リーダー）

環境 - 23 では対象としている堰が 6 つあるので、全てを検討、実施するのにその位までかかるのではないかということだ。1 つの堰であればこれ程時間はかからない。ま

た、実施に移る前にはまず検討して、内容について説明し了解を得てからとなっているので、実施の線は入れていない。(河川管理者)

「不可」とまで言う必要はないと思う。できるところから速やかに実施を進めて下さいと意見してはどうか。

- ・資料 2-1-2 の環境 - 25 のところで、支流の水質対策について意見を出している。この整備内容シートに対する意見としては適切でないかもしれないが、どこかに記述してほしい。

環境 - 25 は物理的な移動経路について扱っているので、水質に関してはまた別の適当なところを探して記述するようにする。(田中リーダー)

環境 - 58 の内容が近いので、そこに入れてはどうか。

環境 - 58 と水質の部分の両方に「連続性を確保する場合その先の水質について同時に検討をすべき」という意見を入れることにする。(田中リーダー)

- ・環境 - 58 のところ「鶯の森で取水しているが途中から暗渠になっている。川西の文化会館周辺が非常に良好な状態で残っている」という意見はどういう意味か。(田中リーダー)

水田と水路と川の連続したネットワークが重要だということで、暗渠になっているところも再生させるような方向で考えられないか、という意見だと思う。

#### <河川レンジャー>

- ・河川レンジャーについてまとめられていないので、具体的にイメージできるレンジャー像について文書で意見を提出してほしい。計画 - 1 および治水 - 3 のところにも書き込む必要がある。基礎原案に書かれているような単なる川の自然に詳しい人というのではなく、流域全体の治水や利水も見通せる万能な人が必要ではないか。そのためにはある程度の権限や資金も必要だと思う。国土交通省の内部、あるいは外部に予算をもつ環境のプロフェッショナルの組織をつくり、その組織と関連して別個に河川レンジャーが必要ではないかと考えている。(田中リーダー)

権限や資金、或いは地位ということについては今後検討すべき課題である。まずは河川管理者が様々な意見を聴きながら河川レンジャーの枠組みを整理することが必要だ。また、宇治川では既に検討懇話会が始まっているが、河川レンジャーについては、猪名川の特性をふまえた独自の人材像を早急に検討する必要がある。

単なるインタープリターでは不十分であり、実効性のあるものにすべきだ。

#### <ダム>

- ・ダム - 1 は、生息、生育実態を定期的に調査するということだが、調査を解析し調査結果をフィードバックすることが、従来のやり方ではうまく機能していないように思う。生物がいるかどうかだけでなく、その物理的、化学的環境と併せてその関連も含めて調査すべきであり、目標像をもって問題解決に向けた意味のある調査等、さらに踏み込んで意見を書き込みたいと思う。(田中リーダー)
- ・ダム - 2 に関しては、一庫ダム周辺は世界に誇れる良好な自然環境を有するという特色を書き込み、「慎重に」というよりむしろ「積極的な」検討を促すべき。
- ・ダム - 22 「余野川ダム(猪名川総合開発事業)」だが、ダムに関しては意見書第 4 章の猪名川部会の意見に入る。(田中リーダー)

#### <その他>

- ・利水 - 1 は「特になし」となっているが、早急に水利用の実態を精査確認し、用途間転用を含めて利水の再構成を進めるべき、等の書き方にしてほしい。
- ・維持 - 19 に書かれているバリアフリー化や住民のニーズに合わせて河川敷内に入りやすいようにする、という形の維持管理に関しては、高水敷の公園やグラウンド利用等の現在の利用の仕方を追認するような形は避けるべき。

) 部会とりまとめについて

- ・基礎原案はよく部会の意見を取り込んでいるが、どれだけ実現できるかが問題。早急な実現を期待したい。(田中リーダー)
- ・書き出し部分が冗長になっているので、後の部分と重複する箇所は削除する等して整理する。(田中リーダー)
- ・狭窄部の浸水被害解消の目標とする計画降雨レベルについては、「既往最大とするのは無理があるため、さらに検討を要する」という提案にとどめるしかできないのではないかと。
- ・河川レンジャーについて、整備内容シートでの議論をもとに何か意見した方がよいのでは。猪名川として見た場合の河川レンジャー像等については部会から意見を出すべき。また、猪名川でも河川レンジャーの試行を行うよう提言する必要がある。
- ・「外来種対策」のところでは、外来種対策にとどまらず、メダカ等の小さな魚も含めて在来種の再生を目指すべき、というところまで言及してはどうか。

河川形状の連続性の回復の目的に、水生生物を追加する。(田中リーダー)

- ・狭窄部の開削に関しては、当面は開削しないことを再確認したうえで、「将来における検討の可能性を残しておいてほしい」と言うに留めている。(田中リーダー)

銀橋狭窄部については、昔から地元では開削を希望してきたという歴史的経緯もあり、「開削しない」方針には疑問がある。

他の狭窄部である亀岡や上野盆地への対策と不整合になるので、開削の検討を他と同列に要求することは避けるべきという意見もあるが、猪名川は他の河川や琵琶湖とは状況が違うので、将来再検討する余地を残してほしい、と他とは違う書き方をしている。(田中リーダー)

- ・余野川ダムに関して、「有効」という表現について言及しているとりまとめ案 P3 の「まとめに対して」の最後の 4 行については、第 25 回委員会で河川管理者の説明を聞いて、河川管理者もこれまでの議論を踏まえていると判断できたので、削除してよいと思う。
- ・一庫ダムも含めた余野川ダムの問題では、利水の問題が重要であること、実態が明らかでない農業用水について精査確認をすべきであること等についてきちんと意見すべき。
- ・ダムおよび狭窄部についてどのようにまとめるか、再度意見を提出してほしい。(田中リーダー)

一般傍聴者からの意見聴取：一般傍聴者 2 名から発言があった。

- ・銀橋の狭窄部は岩倉峡や保津峡等とは事情が違うことをふまえて、開削の可能性についてもう少し踏み込んだ意見を出せないか。開削を提言するなら、明らかに余野川ダムは不要となる。また、堤防強化を最優先と言うが、これまで脆弱な堤防を造ってきましたということを経営者が認めても良いのか？

狭窄部については委員の間でも意見が分かれている。(委員)

開削に関しても余野川ダムに関しても、重要なのは住民参加で可能な限り多くの意見を聴き、慎重に検討する姿勢だと思う。河川管理者はその姿勢を示しているので、見守ってほしい。(委員)

- ・銀橋狭窄部については、開削の全否定ではなく、部分的な開削の可能性についても治水の専門家と検討すべき。また、河川管理者に議論を深めるための円卓会議を要請したところ拒否された。この意見聴取の姿勢には納得できない。議論を深めていけるような意見聴取にして欲しい。

まだ不十分なところも多いが、流域委員会の提言を受け、河川管理者が様々な試みを実施しようとしていることは評価できる。また、委員会側では議論を深めるため、対話集会を何度も開くべきと提言している。(委員)

やり方を上から(管理者側だけで)決定するだけでなく、一般からの要請を聞くことも重要だ。(委員)

民主主義とは、このような場で議論したことが行政に反映されていくプロセスと言える。私たちは批判するだけでなく、建設的な意見を出して行政をサポートすべき。(委員)

以上

説明および発言内容は、随時変更する可能性があります。議事内容の詳細については、「議事録」をご覧ください。最新の結果概要および議事録はホームページに掲載しております。